

弘大・小林教授も乗船へ

第60次南極地域観測隊のオーストラリアで乗船し、物資輸送などを担う観測船「しらせ」(海上自衛隊砕氷艦、宮崎好司艦長、乗員約180人)が10日午前、東京・晴海を出港した。堤雅基隊長(国立極地研究所)ら隊員の大半は26日に

る古い氷の採取を目指し、南極内陸で氷床掘削候補地の調査を59次隊に続いて行うほか、大気やオーロラの観測、海水下の魚類調査などに取り組む。

副隊長は原田尚美・海洋極地域観測隊夏隊員として

研究開発機構地球環境観測センター長代理が

東京 南極観測船「しらせ」出港

※この画像は当該ページに限り陸奥新報社が利用を許諾したものです。

[問合せ先]弘前大学理工学研究科

E-mail:r_koho@hirosaki-u.ac.jp